

NEWSLETTER

2021年1月 ラファエラ東ティモール募金

33号



郵便はがき
〇〇〇〇〇〇〇〇

旧年中に賜ったご好意に感謝しつつ、ニュースレターをお届け申し上げます。

ラファエラ東ティモール募金
支援者の皆様、新年明けましておめでとございます。
様々な困難に見舞われた二〇二〇年は過ぎ去りました。新しい年が人類全体にとってより穏やかな年となりますように。

<ラダトシ記念年>

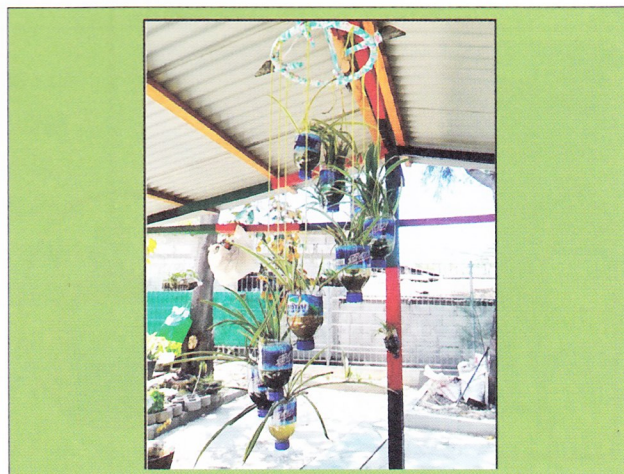
フランシスコ教皇は2020年5月24日から2021年5月24日までを自身が発布された回勅『ラダトシ』を記念する年とされました。私たちの共同体はその呼びかけに応え、エコロジーのための下記のような活動を展開しています。

【写真上段左】毎月、“共通の家” Common Home(地球)を大切にしよう、とのテーマで聖体礼拝をしています。

【写真上段右】青年たちによるドブ掃除・地産の食べ物推進 (キャッサバ・薩摩芋・里芋など)

【写真下段左】ティモール郊外のごみ集積場見学

【写真下段右】修道院庭のミネラルウォーターのボトルを利用したデコレーション



<デイリの活動>



【写真左】栄養プロジェクト支援団体 NAROMAN の皆様と当方
 ンスールの子ども達 8 名やスタッフとのオンライン交流プログラムが去
 る 11 月行われ、楽しい時を過ごさせていただきました。

【写真二段目左】寮生の遠足。清々しい一日でした。

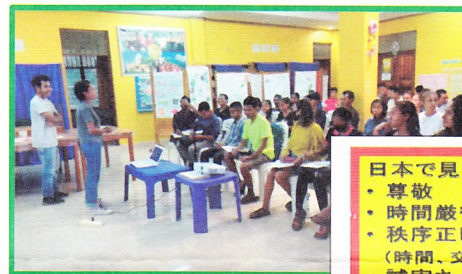
【写真二段目右】ンスールの遠足・コロナ禍での栄養豊かな
 おやつ。

【写真三段目左】日本語教室上級の Silvino さんが初級者対
 象にひらがな教室を開いてくれました。

【写真三段目右】今年 2 月日本に行った 2 学生による発表。

【写真四段目左】パルラさんが帰国しました。写真は隔離施
 設を出た時のものと早大卒業証書を持つ彼女です。

【写真四段目右】日本大使館と YMCA 共催の日本語朗読・
 歌のコンクールで MC を務めるゼリアさん。



日本で見出したこと
 ・尊敬
 ・時間厳守
 ・秩序正しさ
 (時間、交通規則遵守など)
 ・誠実さ



<バザルテテの活動>



【写真左】すでにご存知のバザルテテ小学校の菜園です。担当の
 シスターが代わりましたが、生徒たちは熱心に作業を続けて
 います。収穫した野菜は給食用にしたり、周辺住民に販
 売して売上金を活動資金にしています。下の写真は幼稚
 園の庭に生っているパッションフルーツ。日本では高価な果物だ
 と思いますが、当地の市場で買うと6個100円位です。
 テトク語ではマクサと言ひ、庶民も季節がくるとたくさん食
 べることができます！！



【写真右】コロナ危機は東ティモールの人々の生活をも直撃していま
 す。バザルテテ住民の現金収入源は主に野菜の他、鶏などを
 売って得られています。それも儘ならないのが昨今の
 経済不況です。そのためバザルテテ幼稚園のおやつを通常よ
 り栄養価の高いものにしてあります。子ども達を手伝って
 いるのは二人の志願者。そのうち、最近父親を亡くした
 たため黒色の洋服を着ているのがマヌエラさん。彼女は、最
 近渡日し、早大大学院で学んでいるイザベラさん（上の写
 真）の従姉妹でもあります。



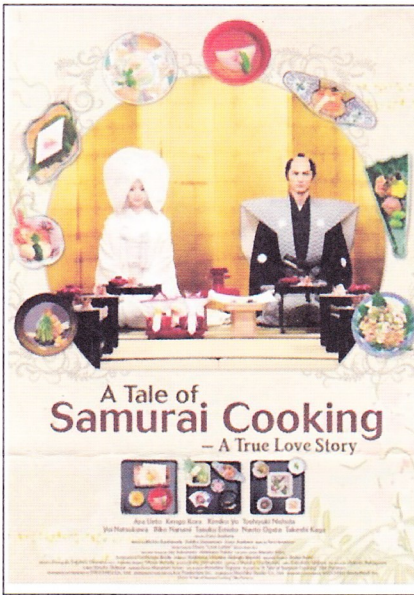
【写真左】フェヒボにあるバザルテテ幼稚園の付
 属幼稚園での卒園式。
 東ティモールは式文化！こ
 んなに小さな子どもの
 卒園式もご覧の通り！



【写真左】バザルテテ小の守衛マヌ
 エルさんの結婚式！東ティモールでの結
 婚のプロセスはユーク。男女が同居
 し始めてからバルキという契約
 が交わされ、その後、教会で結
 婚の秘跡を受けたり、行政機関
 に結婚の届け出をします。20
 年30年かかるのが普通です。
 「お子さん、何人？」

現代世界の大きな問題の一つに闇の
 就労斡旋業があります。写真右端の
 二人はその犠牲者。ベトナムからオーストラ
 リアに向かうボートが故障したため東ティモ
 ールのジャコ島に緊急着船。東ティモール政府
 から人道的なケアを受け、無事に本国
 に帰りました。現在200万円以上の
 借金返済に追われています。写真は
 当修道院における在住ベトナム人ミサ参
 加時のもの。右から4人目はSr.ス。

<その他>



コロナ禍で鬱々とした日々。デイリ市内の『国際映画祭・ジャパン・ナイト』で「武士の食卓」を観賞しました。東ティモール人の他、たくさんの方外国人も楽しみました。



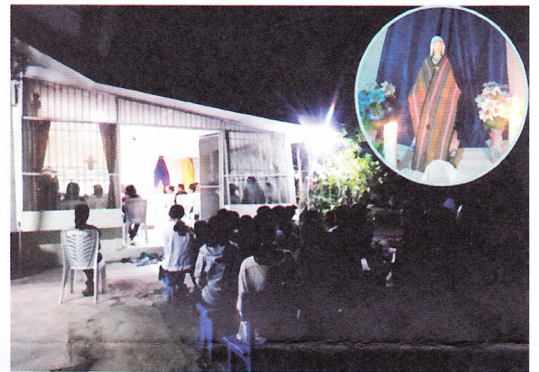
お帰りなさい、
兵衛神父さん!!

叙階前に東ティモールで働いておられたイエズス会の村山兵衛神父様が叙階後の10月14日当地に戻られ、ライコにある教区の中高の校長となりました。



私たちの修道会は今年、東ティモールにおける活動開始以来18年目を迎えました。この度、最初に入会した東ティモール人3人（左から Fina, Mingas, Jefa）が最終養成期を過ごすためヨーロッパに向かいました。写真はポルトガル滞在時のもの。現在はスペインでスペイン語を学んでいます。最終修練はローマで5月から始まり世界各地から20名弱が集まります。お祈り下さい。

10月は聖母マリアに対する信心であるマリアの祈りの月です。近隣の地区でも毎晩聖母像が各家を巡り、熱心な祈りが捧げられました。特にコロナの犠牲者のために皆心から祈りました。



神学生支援のお願い



アツバ出身のジョアンジーニョ・ゴンザルズさん（22歳）は父親が亡くなったため在籍していた神学校の退学を余儀なくされました。神父になって教会のため社会のために働きたいという強い望みを持つ彼を支援して下さる組織などをご存知でしたらお知らせ下さるようお願い致します。向こう8年間、毎年約400ドルの学費を必要としています。



牛は東ティモールで最も貴重な動物です。二千二十一年が、皆様にとって、世界中の人々にとって、この国の人々にとって多き年となりますように心よりお祈り申し上げます。

ラファエラ東ティモール募金事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-8-5

聖心侍女修道会 Sr.日高和子

tel:03-3442-9201